

業界ニュース Industry NEWS

周辺産業
関連団体

PAA
ギャンブル等依存症問題勉強会（会員向け）を開催

び支援活動が完了したことを発表した。寄贈の概要は次の通り。寄贈の活動期間は2020年8月7日～2021年4月12日、寄贈先は各店舗校区内の小学校（一部保育園を含む）、主な寄贈品は自動手指消毒器、検温器、飛沫防止ボード。なお、夢コーポレーションは、誠心のある経営と次代に語れる会社づ

一般社団法人ぱちんこ広告協議会（PAA、大島克俊代表）は5月18日、パチンコ・パチスロ依存症問題の啓発週間にあたり広告事業者として「ギャンブル等依存症問題」への理解を深めるため、会員向け勉強会を開催した。勉強会では、講師に認定NPO法人リカバリーサポート・ネットワーク（RSN）代表理事の西村直之氏と、マルハンの鈴木智一氏を迎え、パチンコ研究家の丈幻氏の司会で「ギャンブル等依存症問題に対するパチンコホール事業者の実際の取り組みについて」をテーマに、RSNの活動について、ホール経営企業各社のさまざまな活動について学んだ。なお、鈴木氏はRSNに出向し実際に相談業務に携わった経験から社内外への働きかけを精力的に

くりを企業理念に掲げ「地域共生」を目指すチェーン型パチンコホール。全国21県に33店舗を展開している。ダイナムジャパンホールディングスでは今後も、顧客の協力のもと地域に根ざした社会貢献活動や災害支援に取り組んでいくとしている。

行っている。

冒頭、大島理事長があいさつ。「コロナ禍でのギャンブル等依存症問題啓発週間となったが、業界内の取り組みとしてパチンコ・パチスロ依存症問題フォーラム実行委員会によるウェブフォーラムが開催されるなど、さまざまな取り組みが行われている。そうしたなか、PAAとしては改めて会員向け勉強会を開催することにした。これまでも和歌山県や三重県などで勉強会を開催してきたが、より深く具体的に説明いただける環境を作るため、今回はあえてクローズドで開催した。会員はぜひこの勉強会を通してギャンブル等依存症問題に対する理解を深め、今後の活動に活かしていただきたい」と開催の目的と意義を述べた。

勉強会では、西村氏からRSN設立の経緯や支援制度、相談件数や内容の変遷と現状、コロナ禍での相談者の変化、また世界との比較などをヒアリング。鈴木氏からはRSNでの経験も踏まえ、現在行われているさまざまな取り組みなどを聞いた。当日は、依存症対策を紹介するイラストやオリジナル動画も視聴。ホール企業の活動を知るだけでなく依存についての理解も深めた。

勉強会のラストには「PAAに望むこと」として、西村氏からは「RSNだけでは難しい、ファンや社会とのコミュニケーションラインを開きつつかけづくりを期待したい」との要望が投げかけられ、鈴木氏からは「依存対策だけに限らず業界が取り組んでいる社会貢献活動など、ファンに伝わる発信をお願いしたい。他団体でも業界の取り組みを発信しているので連携して発信力を高めてほしい」と発信の強化に加えて、「基本計画など国からの要請が出されてから対応するのではなく、積極的に先手を打った施策の展開を期待している」との要望が出された。

質疑応答では、個人個人への回復支援の必要性を感じているが全国にどの程度の施設や拠点があるのか、身近な人に依存傾向がみられたときの接し方はどのようにすればいいのか、などの質問が寄せられた。

最後に松丸副理事長から、「相談現場の情報や生の声を聴けた良い勉強会になったと思う。西村代表と鈴木さんからいただいた要望はコミュニケーションを仕事としている会社が多いPAAが推進していかなくてはならないと感じた。持ち帰り進めていきたい」と西村氏、鈴木氏、丈幻氏への謝意とともに会を締めくくった。

